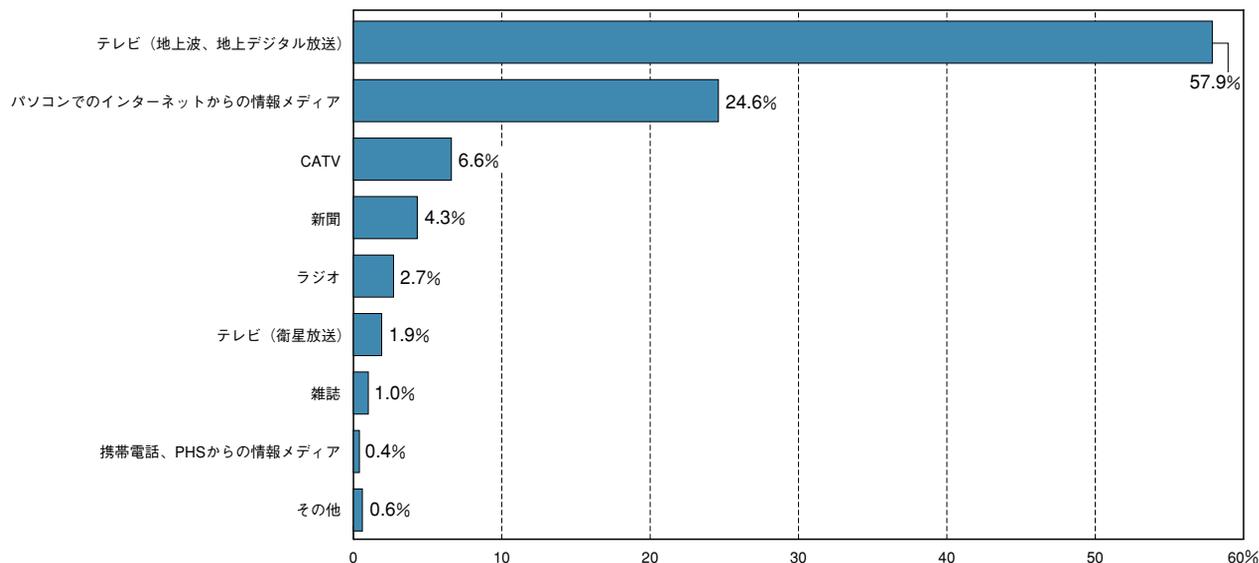


## 他メディアとの比較

### 平日最も接触時間の長いメディアはテレビ

資料2-5-3 1日のうち最も長く見ている情報メディア（平日）（単一回答） N=1,600

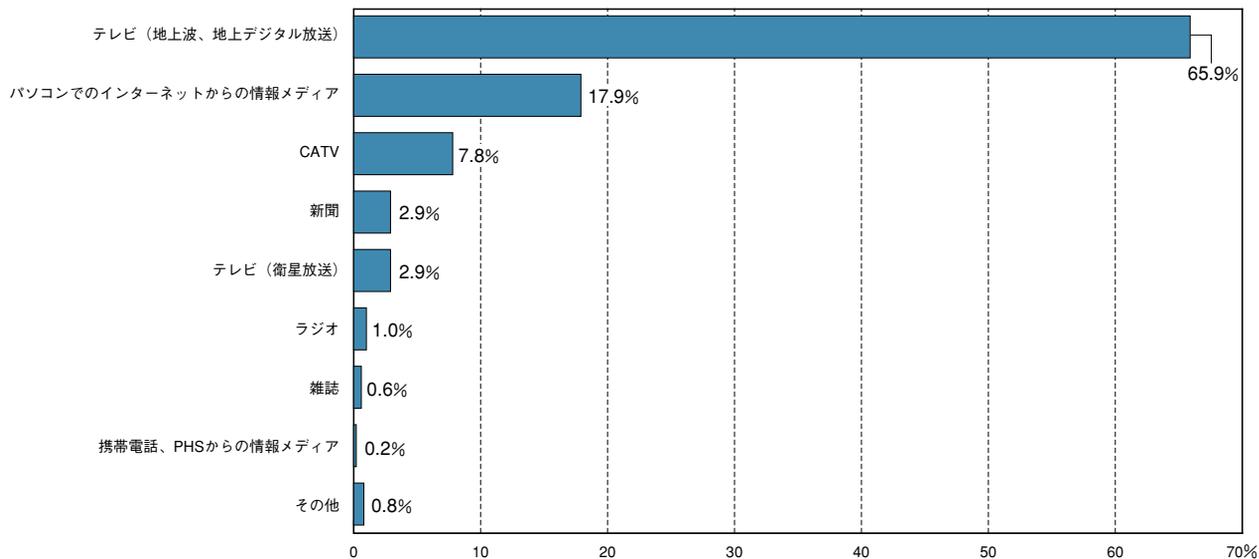


平日、最も長く見ている情報メディアのトップは「テレビ」で、半数以上の57.9%となっている。24.6%で2位に上がっている「パソコンでのインターネットからの情報メディア」の倍以上となっており、インターネットの普及が進んでいるとはいうものの、依然として「テレビ」が接触時間の最も長いメディアであることがわかる。

©impress,2005

### 休日のテレビへの接触時間は平日以上の長さ

資料2-5-4 1日のうち最も長く見ている情報メディア（休日）（単一回答） N=1,600



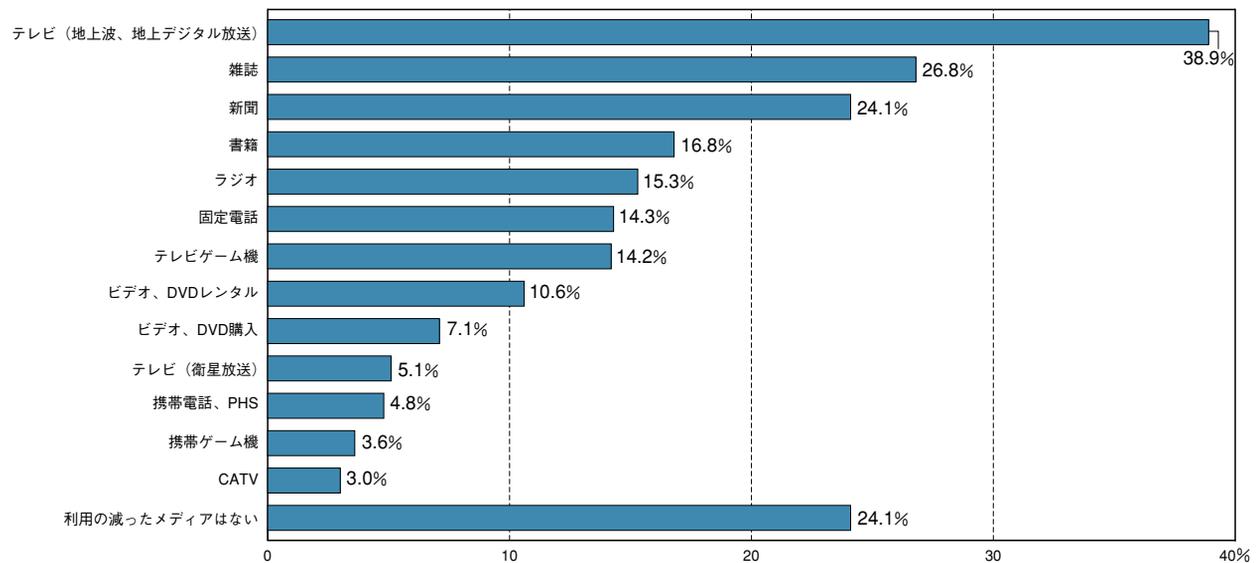
休日、最も長く見ている情報メディアも「テレビ」で、平日よりさらに高く65.9%に達している。逆に「パソコンでのインターネットからの情報メディア」を最も長く見ている人は平日に比べ減少している。テレビは受動的な情報メディアであるのに対しインターネットは能動的に情報を摂取する性格のメディアであることから、休日はテレビを見ながらくつろぎたいとの意識がうかがえる。

©impress,2005

他メディアとの比較

情報摂取方法の一部はマスメディアからインターネットに移行

資料2-5-5 インターネットにより利用の減ったメディア（複数回答） N=1,600

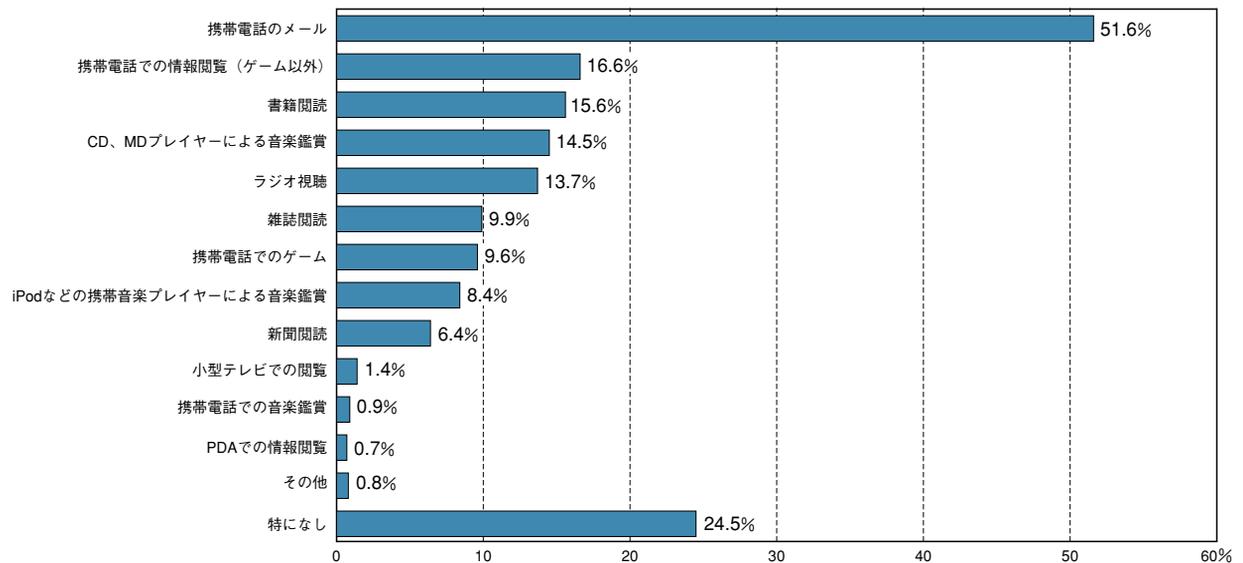


インターネットにより利用が減ったメディアは、「テレビ」がトップで38.9%。次いで「雑誌」が26.8%、「新聞」24.1%と続く。「利用の減ったメディアはない」という人も24.1%いるが、これまでテレビをはじめとするマスメディアから得ていた情報のある部分が、インターネットによる摂取にスイッチされていることは明らかである。

©impress,2005

移動中によく使うメディアの半数以上は携帯電話のメール

資料2-5-6 移動中によく使うメディア（複数回答） N=1,600



移動中によく使うメディアは、携帯電話のメールが半数以上の51.6%でトップ。昨年よりも20ポイント近く増加しており、生活者の必需品ともいえる存在になってきた。ほかのメディアでは、書籍閲読が15.6%で昨年より10ポイント程度、雑誌閲読が9.9%で昨年より5ポイント程度それぞれ減少しており、移動中の利用メディアにおいても紙媒体離れが進んでいる。

©impress,2005



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)